

2025 年 10 月 7 日

一橋大学大学院 経営管理研究科
国際企業戦略専攻
ポーター賞運営委員
専攻長 教授 大藺恵美

第 25 回ポーター賞受賞企業発表
“競争力カンファレンス”のご案内

ポーター賞は、2001 年に創設し、毎年、独自性のある優れた戦略を実践している企業・事業を表彰しています。本年度は、下記の 3 企業・事業に決定しましたのでお知らせします。(順不同)

- 株式会社 eWeLL (訪問看護事業所支援サービス業)
- 株式会社フジクラ 情報通信事業部門 (光ファイバーケーブル製造業)
- 株式会社 SCREEN ホールディングス SCREEN セミコンダクターソリューションズ (半導体製造装置製造業)

また、毎年実施しております「競争力カンファレンス」を、12 月 2 日(火)に一橋講堂にて開催いたします。受賞社の経営者の方々に、楠木建一橋大学特任教授がインタビューし、受賞した競争戦略の魅力を語っていただきます。

続いて、名和高司一橋大学客員教授ファシリテーションによるパネルディスカッション「AI と競争力」を予定しております。

取材いただける場合は、下記事務局にご連絡ください。

ポーター賞運営委員会事務局

ご連絡はメールでお願いいたします。 porterprize@ics.hub.hit-u.ac.jp



主催 一橋ビジネススクール 国際企業戦略専攻
共催 一般社団法人 一橋大学知識共創機構
協賛 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
株式会社 KPMG FAS

<https://www.porterprize.org/>



ポーター賞 競争力 カンファレンス 2025

価値創造のロジック

主催：一橋大学大学院 経営管理研究科 国際企業戦略専攻＜一橋 ICS＞

共催：一般社団法人 一橋大学知識共創機構

協賛：三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
株式会社 KPMG FAS

2025 年 12 月 2 日（火） 一橋講堂 先着 200 名様 参加無料（英語同時通訳あり）

参加登録：<https://www.ics.hub.hit-u.ac.jp/porter-prize-2025>

※プログラム詳細時間は、変更する可能性があります。

※後日、ポーター賞ウェブサイトから録画を御覧いただけます（日本語、英語）。

15：00 主催者挨拶

一橋 ICS 専攻長 教授 大藺 恵美

15：05 講演

株式会社 KPMG FAS

代表取締役 パートナー 岡田 光 様

15：10 講演

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

取締役 副社長執行役員 別所 賢作 様

15：15 受賞企業の収益性分析

一橋ビジネススクール 教授 野間 幹晴

15：30 受賞企業インタビュー

聞き手：一橋 ICS 特任教授 楠木 建

株式会社 eWeLL 代表取締役社長 中野 剛人 様

株式会社フジクラ 取締役社長 CEO 岡田 直樹 様

株式会社 SCREEN ホールディングス

代表取締役 取締役会長 廣江 敏朗 様

16：30 パネルディスカッション「AI と競争力」

ファシリテータ：一橋 ICS 客員教授 名和 高司

17：20 閉会挨拶

一橋 ICS 専攻長 教授 大藺 恵美

第 25 回ポーター賞 受賞企業・事業

※ 以下は受賞理由の要約です。

(順不同)

株式会社 eWeLL

株式会社 eWeLL は、訪問看護事業所の支援サービスを提供している。市場規模としては同社の創業時に訪問看護の 4 倍と言われた訪問介護市場ではなく、訪問看護市場に特化し続けている事が第一の特長だ。訪問看護の充実が高齢化社会における医療体制にとって重要だが、多くの訪問看護事業所は小規模で廃業率は中小企業の平均廃業率を上回る。eWeLL は、訪問看護における看護師の日常業務、つまり、カルテ、保険請求、看護計画書と報告書の作成などの業務の電子化、効率化により一日当たりの訪問件数を増やすこと、看護の質を改善することによって訪問看護ステーションの成功に貢献する。同社は特に、日々の看護記録の電子化と電子カルテの普及から手掛けており、この情報が看護計画書や報告書の素案の自動作成など、一連の業務の効率化の基盤となっている。多くのサービス提供者が保険請求から手掛け始めたのとは対照的だ。

訪問看護は医療保険、介護保険、時には障がい福祉制度にも関係しており、複雑だ。さらに、毎年のように法制度対応や行政手続きが変更になる。だからこそ、この分野に特化し知見を蓄積することと、それを織り込んだ使い勝手の良いシステムが価値を生む。同社は、営業とカスタマーサポートセンターを自社で運営し、顧客への助言提供とともに、訪問看護ステーションの運営ノウハウのコンサルティング機能も提供している。カスタマーサポートセンターには全従業員の 2 割が配置され、顧客への支援と共に、毎月の製品更新に活かされている。

株式会社 SCREEN ホールディングス SCREEN セミコンダクターソリューションズ

株式会社 SCREEN ホールディングスの主力事業を担う子会社、SCREEN セミコンダクターソリューションズは、半導体製造装置、中でも洗浄装置で 1999 年から世界シェア 1 位を維持している。洗浄は、製造過程で発生する微細なゴミを取り除く工程であり、半導体の製造工程のイールド改善、良品率に大きく影響する。同社はウエハー上の表面改質の処理技術に強みを持ち、個々の技術、ノウハウの組み合わせ力によって同社の装置は高い洗浄処理性能を持つ。加えて、同社は、半導体製造の前工程全体の処理速度に影響を与えている。洗浄は、様々な加工の前後に何度も行われ、一つの製造ラインに複数台の洗浄装置が使われる。半導体製造の前工程の 30% を担っているとも言われる。洗浄装置の前後には他社の製造装置が使われているが、同社は、繰り返し行われる洗浄という機能を担うことから、取り除くべきパーティクル(ゴミ)の素材、形状、温度、所用時間など、に対して最適な解を持っている。

半導体製造装置の市場は変動が大きいが、同社は、一部の鍵となる部品を内製、構成部品は外注し、自社クリーンルームで外注先が組み上げて検査を行う半ファブレスの体制を取っている。また、顧客へのカスタマイズが求められる事から、製品構造をユニット化し、さらに、大部分を標準化しながら一部をカスタム対応するセミオーダーメイドとする事によって、カスタム対応しつつ需要の変動、納期管理、品質管理、保守サービスの効率化と高信頼性を可能にしている。装置の売切りでなく、直接販売、直接サービスの提供により顧客のニーズを満たし続け、長期的な信頼関係を構築している。

株式会社フジクラ情報通信事業部門

株式会社フジクラ情報通信事業部門は、光ファイバケーブルの製造販売に力を入れている。その戦略の特長は、独自の製品・製造技術に基づいた高付加価値領域の創造と特化にある。同社は、日本における光ファイバ市場の飽和を機に、従来からの構造(スロット型、ルーズチューブ型)の光ケーブルの生産・販売から完全に撤退、自社開発した間欠固定型リボンファイバを用いた光ファイバケーブルに特化、ターゲット市場も日本から海外へとシフトした。この新しい構造は、超多心、細径高密度、軽量であり、従来品と比較して製造費用が大幅に低減できるだけでなく、顧客の施工費用の低減も可能。同社は、光ファイバ素線、光部品・コンポーネント、融着接続機、光応用製品などの関連製品を全て提供しており、これが、新しい構造の光ファイバケーブルの特長を実現する事と、その優位性を確保する事に貢献している。また、販売においては、顧客側の総費用低減を訴求し、それが生み出す価値に見合う価格を得られるような販売活動を直営の販売会社で行っている。販売会社は、ケーブルだけでなく部品や機器、敷設工事への助言やサービスまで対応することによって配線ソリューションを提供することができる。海外としたターゲット市場は、米国のハイパースケール・データセンター市場における浸透に成功、欧州においても大手通信キャリアや鉄道市場を中心に浸透が進んでいる。安価を強みとする光ファイバ、ケーブルメーカーとの価格競争と一線を画しており、業界比高い収益性を実現している。

資料：ポーター賞について

ポーター賞は、独自性のある優れた戦略を実践し、高い収益性を達成、維持している企業・事業を毎年表彰しています。賞の名前は、競争戦略論の第一人者であるハーバード大学のマイケル E. ポーター名誉教授に由来し、マイケル E. ポーター教授、一橋大学名誉教授の竹内弘高は、アドバイザー・ボードとしてポーター賞に参画しています。

■ 過去の受賞企業・事業 注：企業・事業名は、受賞当時のものです。

受賞企業一覧 2001 - 2024 88社・事業

2024年度	株式会社アドバンテスト	2013年度	株式会社伊藤園
	ヒューリック株式会社		株式会社カカコム価格.com事業
	株式会社ISOWA		三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社 インダストリアル本部 (産業ファンド投資法人)
	株式会社ジャパネットホールディングス		株式会社ユナイテッドアローズ
2023年度	アイリスオーヤマ株式会社	2012年度	味の素ファインテクノ株式会社電子材料事業部
	地主株式会社		株式会社クレディセゾンクレジットカード事業
	株式会社ビズリーチ		株式会社東京糸井重里事務所
	ユニ・チャーム株式会社		株式会社リクルート 旅行営業統括部（じゃらんnet）
2022年度	アクセンチュア株式会社	2011年度	コマツ建設機械・車両事業
	株式会社SHIFT		三菱レイヨン株式会社 MMA 事業体
	東京エレクトロン株式会社		株式会社Plan・Do・Seeブライダル部門
	ルネサス エレクトロニクス株式会社		スター・マイカ株式会社中古マンション事業
2021年度	株式会社カインズ	2010年度	キリンビール株式会社--酒類製造販売業
	株式会社クラシコム		株式会社ぐるなび--情報サービス業
	株式会社ジズホールディングス		テルモ株式会社 心臓血管カンパニー カテーテルグループ
2020年度	株式会社トリドールホールディングス丸亀製麺事業（株式会社丸亀製麺）		プロパティデータバンク株式会社
	株式会社ミルボン	2009年度	株式会社ポイント
	株式会社ヤッホーブルーイング		株式会社パーク・コーポレーション青山フラワーマーケット事業
	楽天銀行株式会社		株式会社ファーストリテイリングユニクロ事業
2019年度	株式会社ワークマン	2008年度	オイシックス 株式会社
	UTグループ株式会社マニファクチャリング部門（UTエイム株式会社）		東海パネ工業株式会社
	エン・ジャパン株式会社中途求人メディア事業部		マニー株式会社
	エレコム株式会社	2007年度	カイハラ株式会社
2018年度	ほけんの窓口グループ株式会社		マルホ株式会社
	株式会社MonotaRO		株式会社良品計画
	RIZAP株式会社ボディメイク事業	2006年度	株式会社 ガリバーインターナショナル
	トラスコ中山株式会社		ブックオフコーポレーション株式会社
2017年度	株式会社カチタス		日本電産株式会社精密小型モータ事業
	株式会社ネットプロテクションズ	2005年度	大洋薬品工業 株式会社
	株式会社プロシップ		株式会社バンダイ
	キュービーネットホールディングス株式会社		株式会社ベネッセコーポレーション教育事業グループ
2016年度	前田工織株式会社インフラ事業		株式会社堀場製作所エンジン計測システム機器事業
	株式会社丸井グループカード事業	2004年度	大同生命保険株式会社
	株式会社オープンハウス戸建事業		フェニックス電機株式会社
	ビジョン株式会社ベビー・ママ用品事業	2003年度	株式会社駿河銀行
2015年度	株式会社 I B J		株式会社セブン-イレブン・ジャパン
	株式会社カネカ カネカロン事業部 頭髮裝飾商品事業		トレンドマイクロ株式会社
	株式会社中川政七商店		株式会社シマノバイシクルコンポネンツ事業部
	新生プリンスパルインベストメント株式会社	2002年度	アスクル株式会社
2014年度	YKK株式会社ファスニング事業		武田薬品工業株式会社
	星野リゾート--リゾート		オリックス株式会社
	株式会社スタートトゥデイ	2001年度	マブチモーター株式会社
	株式会社アイスタイル		松井証券株式会社
			キヤノン株式会社レンズ事業部
			HOYA株式会社ビジョンケアカンパニー

以上